碧南市民病院広報誌

ほほえみ

no. 77
2024 January

病院長挨拶

亀岡 伸樹（かめおか のぶき）

新しい年を迎え、ご挨拶を申し上げます。

３年以上の長期にわたって私たちの生活や仕事に大きな影響を与えてきた新型コロナウイルス感染症は、昨年５月に五類感染症の指定に移行し、ようやく落ち着いた感があります。日常生活ではマスクの着用が個人の判断に委ねられるようになり、社会経済活動もコロナ以前と同様に活発になり、回復の兆しを見せています。

一方で、その後も第８波、第９波の流行が続いており、年末にはいくつかの病院で院内クラスターが発生し、診療制限が行われました。インフルエンザやその他の感染症も以前よりも増加しており、私たち医療関係者は、気を緩めることなく万全の体制で医療を提供するため、努力を続けています。

昨年を振りかえると、２月には日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審し認定を受けました。1998年の初回認定以降、絶えることなく６回目の認定を受けることができました。

７月には一昨年から準備をしていた「碧南市民病院経営強化プラン」が完成しました。これは５年間の中期計画となっており、急速な少子高齢化の進行、人口減少を見据え、高齢者人口がピークに達する2040年までの中長期的な視野に基づいて策定しました。

８月には病棟改修工事が完了し、以前は暗い印象を与えていた病棟が明るく生まれ変わりました。同時に一階の売店や、休憩・食事のできるアメニティスペースを改装し入院患者や外来患者の皆様の環境を整備しました。経営強化プランや施設整備も整い、文字通り新たなスタートを切る年となりました。

2024年は、病院にとっていくつかの課題が迫っています。4月には診療報酬と介護報酬の同時改定が予定されており、その改定に対応するために、診療の体制や地域の介護施設との連携体制の見直しが必要になる可能性があります。

同じく4月に、労働基準法の時間外労働の上限規制が医師にも適用され、"医師の働き方改革"が本格化します。医師だけでなく医療職種は職務の性質上、労働時間が長くなり、高い生産性を確保することが困難な職種です。しかし、働きやすい環境を整備し職員の健康を守りながら、市民の皆様により高品質な医療を提供できるよう努力してまいります。

当院の基本理念は、「温かな心のこもった医療の提供」です。職員全員がこの理念を共有し、碧南市の中核病院として、病院の機能を維持し、医療の質を向上させるために努力しています。進行する少子高齢化社会において、周辺の病院との連携を強化し、機能分担を発展させることで、この地域全体での役割を果たしてまいります。

今後も、碧南市民病院に対してご支援とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

Contents

| 病院長挨拶
| 風邪に抗菌薬は効かないってほんと？
| 病気のはなし　ドクターズ・ファイル
| 新任医師の紹介

SNS

ＳＮＳで病院内での明るいニュースや、患者さんが召し上がっている食事の紹介、病院内で見られる季節の花や景色のみどころなどを紹介しています。ぜひフォローしてください！

ホームページ　Instagram　Twitter

HEKINAN_MUN_HP

碧南市民病院
Hekinan Municipal Hospital

発行：碧南市民病院広報委員会
碧南市平和町３丁目６番地
TEL.0566-48-5050

TAKE FREE
制作：名古屋市立大学芸術工学部

かぜに抗菌薬が効かないってホント？？

冬の寒い季節がやってきました。インフルエンザやかぜのシーズンですが、近年、抗菌薬（抗生物質、抗生剤）の使用が問題になっていることをご存じでしょうか。かぜを引いて抗菌薬がないと心もとないと言われる患者さんに「念のため」と医師が処方することで、薬の効かない「耐性菌」を作ってしまう。そんな状態があることを知っていますか？今回はどうしてかぜに抗菌薬が効かないかをお話しします。

Q：かぜの原因はなんですか？

A：一般にかぜの原因となるものは２００種類以上あるといわれ、大半は「ウイルス」によるものです。「細菌」によるものではありません。

Q：かぜの原因が大半は「ウイルス」なので、抗菌薬は効果がないのですか？

A：そうです。抗菌薬は細菌にある細胞壁を壊すことによって遺伝子やタンパク質の合成を止めることができるため効果があります。ウイルスには細胞壁がないため効果を発揮できないのです。

Q：かぜで抗菌薬を希望することはいけないことですか？

A: 冒頭でもお話ししたように、大半が「ウイルス」によるものが多いため、主に対症療法で良いと考えます。かぜを治すのはあなた自身の免疫力であり、抗菌薬ではありません。困ることとして抗菌薬は使ううちに、薬への抵抗力を持つ薬剤耐性の細菌が現れ、それが主流になると、抗菌薬が効かない患者さんが増えてしまいます。

Q：新しい抗菌薬を作れば良いのではないのですか？

A；新しい抗菌薬を作成してもすぐに耐性菌が出現している状況があり、また抗菌薬は高血圧や糖尿病のように長い年月飲む薬ではないこともあり、開発は頻繁にされません。今ある抗菌薬を大切に使い、未来の子ども達が細菌感染症になったときに治療できる抗菌薬を残しておかないといけません。

Q：では私達にできることは何ですか？

A：手指衛生とアレルギーのない方はワクチン接種が身近で誰でもすぐにできる対策です。また自ら抗菌薬を希望しないこと。しかし医師が処方した場合は、最後までしっかり飲みきることが大切です（よくなったからと抗菌薬の服用を途中でやめてしまうと耐性菌を作る原因の１つとなります）。

１．手洗い・手指消毒

特に指先や指の間を意識してこすり、その後手を合わせこするときれいになります。鼻をよくほじる人はほじらない人に比べると４倍感染症にかかりやすいともいわれています（鼻や目や口の粘膜からも感染するため）。またウイルスは、飛沫・接触で感染します。冬に流行するノロウイルスやロタウイルスはアルコール消毒薬の効果がないので、下痢便の処理後は石けんでしっかりと手を洗いましょう！

２．ワクチン接種

ワクチン接種には「個人を守る」と「社会を守る」の２つの役割があります。ワクチン接種を受けることでその病気に対する免疫（抵抗力）が作られ、その人の感染症発生や重症化を予防することができるといわれています。接種後約２週間程度で抗体ができるといわれているので流行１か月前の接種を推奨します。

感染制御室　感染管理認定看護師　生田幸江

病気のはなし

『めまいについて』

小林　圭一（こばやし　けいいち）先生 ／ 耳鼻咽喉科

めまい（誰にでも一度は経験があるかと思いますが）を主訴に救急外来を受診する方は多いです。救急搬送（救急車）・徒歩（自力）共にです。救急外来のめまいの患者さんは耳鼻咽喉科／神経内科などの一般外来を受診する患者さんと異なり、内耳由来や脳血管障害を含めた中枢性疾患だけでなく、心疾患・血液疾患・代謝性疾患・精神科疾患などによるものがあり多彩です。めまい症例は原因疾患を特定しにくく無治療でも自然軽快するものが少なくない一方、放置すると致死的な疾患も一定の割合で含まれますので、病気（めまい）の話を難しくします。患者さんはめまいの表現を「ぐるぐる」「ぐらっと」「ふわふわ」「まっすぐ歩けない」などと色々な言い方をされます。急性期のときは患者さんもしんどい（苦しい）ので、目も開けず嘔吐も伴いなかなか情報もとれないのも、めまいの診断の困難なところです。それ故、患者さんも不安になります。３ヶ月以上、ほぼ毎日「ふわふわ」「くらくら」続くめまいを慢性めまいと言います。話が長くなりましたが、『めまいは症状で診断名ではない』ということだけ覚えておいてください。

Doctor's File

［自分の手の届く患者はすべて救いたい］

牧野　太郎（まきの　たろう）先生 ／ 循環器内科

循環器内科は主に心臓病や血管の病気の専門科です。当院の循環器内科では、高血圧、不整脈、心不全、狭心症、心筋梗塞など幅広く対応しています。高齢化社会における心不全患者の増加や生活習慣病の増加による若年性発症の心筋梗塞など、近年循環器疾患の患者数の増加を肌で感じています。特に心筋梗塞などの疾患は突然命を失うこともあり、治療が遅れると大きな後遺症が残ることもあります。私は自分の手の届く患者さんはすべて救えるように努力しています。大学病院では不整脈関連の研究で研鑽を積み、特にペースメーカー手術を得意としています。より安全に、より負担が少なく、より短時間で手術ができるように心がけ、治療後、元気になって退院される姿を見て、こちらも元気をもらっています。

気になる症状があれば是非一度ご相談ください。

新任医師の紹介

1. 所属　2. 前任地

ふるた　たかひろ
古田　恭寛

1. 脳神経内科
2. トヨタ記念病院

８月より赴任いたしました。
脳血管障害、変性疾患、神経免疫など様々な分野に取り組んでいきます。慣れない土地ではありますが頑張りますので今後ともよろしくお願いいたします。

もりうら　てっぺい
森浦　哲平

1. 整形外科
2. 半田市立半田病院、名古屋大学医学部附属病院

半田病院で５年研修したのち、名古屋大学を経由して当院に赴任しました。専門は外傷・整形外科一般で、必要とする方々に少しでも力になれれば幸いです。地域や病院の中での役割を自覚し、精一杯やらせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

碧南市民病院は

「温かな心のこもった医療の提供」

を病院の基本理念として掲げます

基本理念「温かな心のこもった医療」の提供のもとに、地域に信頼され選ばれる病院、職員が誇りをもって働ける病院を目指して**基本方針**を定めます。

1. **医の倫理にもとづいて、すべての人に平等に人格、権利を尊重して、心のこもった医療を行います**
2. **質の高い医療を提供します**
3. **安心の医療、心穏やかな医療を提供します**
4. **救急医療、地域医療機関連携の推進をします**
5. **健全な運営、管理を行います**